

平成 29 年度宮津市総合教育会議会議録

- 1 日 時 平成 29 年 11 月 6 日（月）午前 9 時～
- 2 場 所 宮津市役所 応接室
- 3 出席委員 宮津市長 井上正嗣
宮津市教育委員会教育長 山本雅弘
宮津市教育員会教育長職務代理者 生駒正子
宮津市教育委員会教育委員 速石直美
宮津市教育委員会教育委員 田崎公子
宮津市教育委員会教育委員 田崎浩二
- 5 事務局 永濱教育次長 宮崎学校教育課長 大槻総括指導主事
河原社会教育課長 中村学校教育課参事 垣中学校教育課参事
河合学校教育係長 梅本施設係長 吉田社会教育係長
東文化振興係長 吉田図書館司書
- 6 開 会
- 7 議 題 ■宮津市の教育の充実に向けて
- 8 そ の 他
- 9 閉 会

（開会 午前 9 時）

永濱教育次長

定刻になりましたので、ただいまから、平成 29 年度宮津市総合教育会議を開会します。

開会に当たり、宮津市長 井上正嗣から挨拶を申し上げます。

井上市長

おはようございます。

皆様には、御多用の中を御参集いただき厚くお礼を申し上げます。

本年においては、山本新教育長におかれては 4 月から、田崎委員におかれては 10 月から着任いただき、新たな体制のもと教育行政の振興に御尽力いただいております、重ねて感謝を申し上げます。

総合教育会議の開会にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

総合教育会議につきましては、市長である私と教育長、また、教育委員会の皆さんがしっかりと協議調整を行い、ともに「教育のまち みやづ」の実現に歩を進めていく上で極めて重要な会議であります。

今、市のほうでは、この 5 年間で正念場であり、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を軸に地方創生の推進に全力をあげているところでありますが、これを実現していく上で、本市教育の振興は極めて重要であることから、「教育振興計画」を本市政運営の重要な計画として位置付けており、これを全力で実行していくことが極めて肝要であります。

ただいまは、「教育振興計画」のもとで、本市の教育が大きく変わっていく時期にあると思っておりますし、皆様にも実感していただ

いていることと思っております。本日は、より本市の教育の質が向上していけるよう皆様とともに意見交換をさせていただきたいと考えております。

本日の論議を踏まえて、引き続き、「教育のまち みやづ」実現に御尽力を賜りますようお願いを申し上げ、開会にあたっての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

永濱教育次長

市長ありがとうございました。
それでは議事に入らせていただきます。
市長に議事をお願いします。

井上市長

本日の議題は、宮津市の教育の充実に向けて次の4項目です。
(1)学力向上に向けて
(2)教育環境について
(3)文化財の保護・活用について
(4)学校再編について
それでは、事務局から資料の説明をお願いします。

宮崎学校教育課長

■宮津市教育振興計画の進捗状況と今後の重点(案)

基本方針1～基本方針3におけるH29の主要な取組、H30の重点方針を記載、また、H32までの目標指標に対するH29達成状況も記載しております。詳細説明は割愛させていただきますが、委員の皆様には御覧いただきますようお願いします。

■学力向上に向けて

○小中一貫教育について〔資料1〕

- 1 栗田中学校区の状況
平成29年度：研究実践モデル校区
・「めざす子ども像」「教育目標」の設定
・乗り入れ授業・指導
・教科担任制（一部）
・行事（音楽フェスティバル等）
- 2 小中一貫教育推進基本計画（案）
・平成32年度全面実施の形を示すもの
・学力サポートコーディネーターによる算数・数学力の向上
・英語、漢字検定合格を目指す授業づくり（全員受験）
・授業方法向上（小中教員の相互乗入授業、一部教科担任制）
・中学校区愛称「○○学園」
- 3 市民への打ち出し
・栗田学園の研究実践（ホームページ、学校だより）

○子どもの英語力向上に向けた検討の方向〔資料2〕

- 1 小中一貫教育による英語力向上
・H30から小学校英語教科化等の先行・完全実施（時間数増）
・中学校英語教科化教員の乗入指導拡大等
・小学校教員の専科力向上（確保と育成）等
・AET3名の現行継続
・外国語カリキュラム編成（新指先行を踏まえ）
・英語検定を活用した授業展開
・宮津で英語を紹介しよう学習（ふるさと宮津学）
- 2 地域での英語力向上

- ・小学生イングリッシュキャンプの充実
- ・姉妹都市交流派遣の中学生参加
- ・NPO との連携・イングリッシュカフェ
- ・府立高等学校との連携(高校→中学校への指導者派遣等)

○学力向上対策について [資料3]

- ◇ 目標：「質の高い学力の充実・向上」
- ◇ 学力向上のための具体的な取組
 - 漢字能力検定・英語検定推進
 - 学力サポートコーディネーター派遣
 - ふるさと宮津学推進
 - ICT 機器を活用した授業推進

井上市長

「学力向上に向けて」説明がありました。

宮津市教育振興計画の中で、本市も教育を大きく変えていかなければならない。京都府教育委員会教育長も学力向上に向けて取り組んでほしいとの要望もあった。これまで、教育委員会の中でも議論いただいていると思うが、改めて、本会議の中で御意見賜りたい。

生駒教育長職務代理者

これからの子どもたちには、英語力は必ず必要となる。そうした中で、今般、具体的な学力向上プランを示していただき、大変わかりやすく評価させていただく。

枚方市内の学校訪問の際、クラス担任のほかに一般女性が英語授業を教えておられ、子どもたちも楽しそうに授業を受けていた。

英語教科化の先行実施として活動時間(70時間)も増大する中、学校現場も大変になる。AETも毎回学校にいける状況でもない。このため、プランをさらに進めていけるよう、NPO連携の中で2~3人を確保した上で、そうした取組を取り入れてもよいと考える。

速石委員

市内では外国人観光客が激増している。我々受け入れる側の立場として、“安全、おもてなし”は整っている反面、“外国語力”が課題と受け止めている。日常的に子どもも含め、外国語力が高まればさらによいと考えている。外国人観光客にとっては、子どもと会話ができれば魅力的に感じる。

学校教育のハード面は劇的に変わってきた。東日本大震災以降、学校が安全施設として拠り所となっている。そういう意味でも学校の安全面が大切であると実感したところ。あとは、ソフト(学力)面として小中一貫教育等含め高まっていけばと考えている。

井上市長

海外の観光客数は、2020年で4千万人、2030年で6千万人と見込まれている。現在は東南アジアが中心だが、今後西洋も含まれてくる。子どもたちが、街なかでガイドをしたり、対話したりできればよいと感じている。以前に私自身、英語教育の充実を公約で掲げたこともあるため、より一層充実させていきたい。

また、秋田県でも子どもたちの英語教育に先進的に取り組んでおり、本市でも英語の高まりができればと考えている。秋田県(先進地)の視察も含め参考にさせていただきたい。

山本教育長

枚方市は、JET ボランティアとしての取組を実践。日本人で英語が話せる方とAET、担任の先生の3人体制で取り組まれている。AETも実施するが、日本の文化や習慣などをよく知っているということで、指導効果をより高めるために中学校・高校の先生にどんどん入

ってもらい、小中学校における指導の参考にさせていただきたい。本市でも就学前から英語力を身に付けることができるよう宮津オリジナルの系統的なカリキュラムを作りたいと考えている。

井上市長

子どもたちが海外の観光客とあらゆる場所で会話しているなど、学習の場として位置付けられるような取組もできればおもしろい。

生駒教育長職務代理者

宮津にいながら外国人と話せる機会もたくさんある。グローバル化に対応できる子どもを育てていく時期にも来ていると感じる。

井上市長

海外姉妹都市への高校生訪問団も昨日帰ってきた。子どもたちもますます意欲が出てきている。姉妹都市のニュージーランド、デルレイビーチに交流派遣として高校生を隔年で訪問させている。

速石委員

本市は接点もあり、恵まれている環境にある。

宮崎学校教育課長

学力テスト（英語）では、本市も優秀。先日の宮津高校のレシテーションコンテストでも宮津中学校生徒が最優秀賞を受賞したところ。

山本教育長

子どもたちの英語に対する慣れもある。イングリッシュキャンプやカフェなど身近に出会える機会の充実も必要。

河原社会教育課長

イングリッシュキャンプは社会教育所管で実施。本年はNPOの協力のもとで小学生を対象に実施。楽しみながら英語へアプローチする手法で実施し、子どもたちも楽しんで参加していた。

永濱教育次長

これまで、学校外で子どもたちに英語を教える機会はなかったが、社会教育分野でのつなぎとしてNPOの協力も得て実施した。今後も取り組んでいきたいと考えている。

井上市長

子どもたちが英語に親しめる場が必要。速石委員にも子どもたちの職場体験として、英語に接する場を提供していただければありがたい。

田崎（浩）委員

現在、小学校、中学校、高校とそれぞれ子どもがいる保護者の立場にあるが、様々なことを考えていただいてありがたく思っている。しかし、学校、行政だけが取り組んでも仕方がない。親自身も学校任せではなく、より一層の意識を持つべきであり、一緒に考えていくことが大切であると感じている。先ほどから議論されている子どもが英語を間違ってもいいという意識を持たせるためには、やはり英語への慣れも必要と感じる。

山本教育長

正しく伝えるということで、英文法は大切であるが、一方で、まず話してみる、不十分でもまず話してみることに挑戦することも大切。両方を両立させていくことも大事。英語に親しむということの家庭への意識啓発も重要であり、小中一貫教育においても、その効果的な発信に取り組んでいきたい。

井上市長

場と人材育成が大切である。

大槻総括指導主事

宮津高校で実施される英語によるレシテーションコンテストでは、ここ数年の成績もよい。宮津の子どもたちは英語に対して関心が高いと感じられる。英語検定に向けた目標を持ち、英語教員も他の教科に先駆けて様々に取り組んでいる。

栗田小学校も英語に力を入れており、子どもたちも生き生きと取り組んでいる。子どもも小学校→中学校→高校といった憧れを高めることが大切であることから、高校との連携も重要となってくる。加えて、保護者、地域の方の協力が得られればさらによい。宮津は英語への素地は確実に高まっていると考えている。

山本教育長

以前、天橋義塾の本を読んだ際、小学生くらいの子どもの塾生でもドイツ語等の外国語を学んでいたとあった。地元の宮津高校とも連携して取り組めばよいと感じている。

宮崎学校教育課長

ボランティア的な人もお世話になればよいと考えている。

—————国際交流員 ジェシカ 参加—————

井上市長

ジェシカは、本市の国際交流員として様々に取り組んでもらっている。子どもたちへの英語環境にも取り組んでいこうと考えている。これまでのジェシカの経験の中で考えなど聞かせてもらえればありがたい。

ジェシカ

子どもたちとは、学校の中でしか触れ合う機会がない。日常の中でもっと外国人と出会える機会が大切だと思う。

山本教育長

学校外で身近に英語に取り組めることができるサロンやカフェ的な場も必要。

井上市長

学校外でも交流でき、ジェシカみたいな人材を増やすことも重要。

ジェシカ

現在実施している英語交流広場に、先日も学校の先生が来られていた。しかし、交流広場の活動時間が午後4時までという時間的な制約があり、学校現場とのミスマッチもある。

山本教育長

移動時間の制約も確かにあるが、教育課程の枠組みの中で、交流広場で授業をするということも取り組んでもよいと考える。

井上市長

学校教育だけでなく、社会教育の中でも英語に触れる機会をどんどん広げていくことが必要。

永濱教育次長

公民館活動の中で広げていくことも考えられる。

ジェシカ

学校での授業も必要。しかし、人のコミュニケーションの取り方も必要と考える。子どもの中には、勉強だけしていればよいと考えている子どももいる。

山本教育長

子どもたちには、見える学力だけではなく、見えない学力をつけることも必要。

井上市長

世界で最も美しい湾クラブの加盟時に海外へ行った際、随行職員（市職員）も積極的に英語で話しかけており、お互いのコミュニケーションも深まり、結果的に高い評価をいただいた。

日本側も他市町からの出席もあったが、英語の話せない職員もおられ、コミュニケーションも図れていなかった。そういった人材も宮津から掘り起こしていきたい。学校教育だけでなく、社会教育の中での広がりも大切となる。

本市では“社会総がかりで教育にあたる”こととしているので、どのように人材を活用していくかが大事。京都府教育委員会教育長からもエールを送られている。

山本教育長

新学習指導要領が改訂される予定。府学力診断テストの結果をいかに授業に活かしていけるか。本市の学力は平均程度であるが、低い層の子どももいるのも事実です。一方で学力が高い層の子どもは少なくなってきました。とりわけ、算数・数学が課題であり、平均を下回っている。課題がどこにあるのかを考えたとき、

- ①基礎・基本の定着
- ②子どもの学習意欲の向上と家庭学習時間の確保
- ③スキルに使う時間の確保が難しい
- ④指導力の向上と授業改善

学校現場の先生も一生懸命取り組まれています。ポイントを捉えて実施すれば、子どもたちも取り組みやすくなります。クラス間学年内の協働作業もできにくい状況にあるため、学力をサポートしていく手立て（指導者への支援）を講じていくことが必要と感じています。子どもたちに将来を展望し、未来を切り拓く力を身に付けていくためにも、小中一貫教育の推進とあわせて、高校との連携も必要と考えております。

井上市長

学力向上が大きな課題であるため、小中一貫教育も一つの切り札と考えている。

宮崎学校教育課長

現在、栗田小学校で乗入授業も含め、研究実践に取り組んでいます。ただし、小中一貫教育はあくまでも枠組みの一つであります。中身として、今回お示ししている学力向上プランであり、小中一貫教育という枠の中で中身（学力向上）の両輪が動いていくことが大切であります。

山本教育長

小中一貫教育は、子どもたちに確かな学力など、生きる力を身につけさせるための手法や手段であり、取り入れたからといって、簡単に学力が上がるものではありません。

確かな学力などの生きる力を、どのように身につけさせていくのか、小中一貫教育の中身をしっかりと構築していくことが肝心であります。就学前から小中学校の10年間のスパンでカリキュラムや指導などを連続したものとして構築していかなければならないと考えています。カリキュラムにしても、より分かる授業を展開するためには、単元配列や単元ごとの重み付け、更には教材、指導方法など、どのようにしていくのかをしっかりと見極めて、構築していかなければなりません。その上で、他校種の教員により効果的に乗り入れ授業を展開したりすることも重要となります。確かな学力や生きる力を身につけさせるための創意工夫や仕掛けを、どのように組み立てていくのか、そのあたりを念頭に宮津らしい、宮津ならではの小中一貫教育を推進していきたいと考えています。具体的には、平成32年度に

全面実施ということは、平成 31 年度には、試案に基づいた実践が必要で、その状況を評価分析、改善しながら全面実施を目指さなければなりません。と考えれば、平成 30 年度の実践研究が、まずは正念場であり、そのことを、学校、教職員としっかりと共通理解して進めてまいりたいと考えております。

井上市長 現在、小中一貫教育は栗田でも取り組んでいただいている。見通しはどのような状況か。

宮崎学校教育課長 学力は長い目で見通していくことが大切。成果としてはまだ表れてこない。教員の乗入授業をしながら先生同士のスキルアップに期待しているところです。

山本教育長 例えて申し上げれば、栗田小学校と栗田中学校の間に道路がありますが、ひとつの学校として見たとき、その道路の間隔が徐々に狭まっているような状況。小中一貫教育が実施されている姿を地域や保護者に見ていただくことが大切と考えています。

井上市長 宮津小学校と宮津中学校はどうか。

大槻総括指導主事 子ども同士の交流はまだですが、部活練習の一部の交流している。保幼小中の連携ができる体制を整え始めたところです。

井上市長 小学校も中学校や高校みたいに専科の方向にはならないか。

宮崎学校教育課長 法的にはそれぞれの教員免許が必要となります。それを小中一貫教育の中で取り組んでいこうと考えております。

井上市長 中学校の英語の先生が、小学校に出向き英語を教える方が子どもたちも伸びると思う。

山本教育長 小学校では、発達段階に応じた指導のシステムとして、学級担任制となっております。現時点では難しいと考えておりますが、一部、芸術系、専科制の方がよいという議論もあります。小中一貫教育では英語・数学・美術を専科制を取り入れていきたいと考えています。現在、専科は加配措置となっております。国→府→各教育局とそれぞれ潤沢に配置されれば専科制も可能ではありますが、実際はそうした配置も難しいため、一部乗入授業として実施することとしています。しかし、中学校での授業時間数が多い先生は困難なため、府教委に要望していきたい。先日、京都府教育委員会 橋本教育長にも要望させていただいた。

生駒教育長職務代理者 先週岡山県での視察も ICT 環境が整備されていた。かなりの経費がかかるが、効率的に学力を上げていくためにも ICT は欠かせない。子ども真剣に取り組んでいる。そういう意味でも ICT の必要性（重要性）は大きく、教育予算の増をお願いしたい。

宮崎学校教育課長 先行的に学校でどのような使い方をしていくのか整理をしているところ。いずれにしても、その重要性は認識している。

井上市長 未来を担う子どもへの投資は重要。財政が厳しいからということ

を理由にせず、未来を担う子どもへの投資も全面に出していただきたい。

田崎（公）委員

栗田小学校を視察したが、ICT 機器に対して子どもたちも非常に興味を持って取り組んでいる様子を拝見した。

山本教育長

しっかりと使いこなしていくことが重要であります。何といても使い方が重要で、学校も様々な活用に向けて実践を研究しながら、見通しを持って要望してほしいと思っています。

生駒教育長職務代理者

自分の表現を出せる言語活動も英語教育と両輪になるよう大事にしながら学力の充実を図っていただきたい。

井上市長

■教育環境について

事務局から説明をお願いします。

宮崎学校教育課長

○宮津小学校校舎改築について [資料 4]

宮津のシンボリックな校舎整備を目指して、宮津小学校では 3 学期から新しい校舎で勉強できるよう来年 1 月の完成を目指して、校舎改築を進めています。これにより、校舎の耐震化が終了します。

○エアコン等の整備に向けて [資料 5]

耐震化：H32 までに体育館天井等の耐震化

H33 以降に外壁等の耐震化

トイレ洋式化：H32 までに児童用・教職員用 100%整備

エアコン設置：H32 までに普通・特別教室 100%整備

放課後児童対策：H32 までに新設・移設 3 校整備

給食配膳室：H32 までに配膳室 6 校整備

○中学校給食の完全実施とセンター方式給食について [資料 6]

【概要】

・平成 30 年度 2 学期から中学校給食を完全実施。併せて 4 小学校もあわせセンター方式給食を導入。

・平成 29 年 2 月に市とハーベスト株式会社で基本協定締結

【準備状況】

・ハーベスト宮津工場建設着手

・学校配膳室の整備 (H29.10 月～) 2 中学校、4 小学校

・食材調達等の検討 (地産地消、一汁三菜を大前提として)

・給食費の選定の検討

食材調達、給食費設定について、現在、保護者意見も交え協議中。

河原社会教育課長

○新図書館について

新図書館の開設にあたり、運営に係る基本方針を宮津市立図書館協議会で策定し、今後の図書館運営にあたるものとします。

【基本目標】

(1) 学びと育ちを支える図書館

(2) 市民の役に立つ図書館

(3) 出会いのある図書館

(4) 市民が利用しやすい図書館

【新図書館開館時の拡充】

・運営時間の延長：午後 10 時開館 午後 8 時閉館

- ・ ICT の活用：インターネットを利用した蔵書検索、貸出中図書予約
- ・ 蔵書の拡充：110 千冊→156 千冊
- ・ 前尾記念文庫の統合：書誌データ化による一体的な閲覧、貸出の実施
- ・ 閲覧環境の充実：閲覧や学習ができる環境整備

【今後の取組】

- ・ 広域貸出の検討、実施
- ・ 学校図書館との連携支援、児童・中学生を対象にした図書資料の充実
- ・ 赤ちゃんお話し会、保健センター事業・子育て支援センター事業との連携
- ・ ビジネス関係資料等の拡充による地域の活力を生み出す取組の実施

【目標・指標】

(1) 学びと育ちを支える図書館

	現状値 (H28)		目標値 (H32)
・ おはなし会 (回数) :	46 回	→	70 回
・ おはなし会 (参加回数) :	869 人	→	1,300 人

(2) 市民の役に立つ図書館

	現状値 (H28)		目標値 (H32)
・ レファレンス件数	232 件	→	400 件
・ 司書人数	2 人	→	5 人

(3) 市民が利用しやすい図書館

	現状値 (H28)		目標値 (H32)
・ 入館者数	約 30,000 人	→	75,000 人
・ 貸出者数	19,556 人	→	30,000 人
・ 市民年間一人当たり貸出冊数	6.2 冊	→	10 冊

(4) 出会いのある図書館

・ ボランティア参加人数	16 人	→	30 人
--------------	------	---	------

井上市長

〔宮津小学校校舎改築〕

3 学期から新校舎で学べる。建物自体も徐々に見えてきた。子どもたちもこれから新しい環境で学んでいく。

〔エアコン等の整備に向けて〕

子どもたちもこれまで扇風機で我慢してきた。京都府下でもワースト 1 であったため、これではいけないという気持ちで取り組んでいきたい。

〔中学校給食の完全実施とセンター方式給食について〕

安心で安全な給食を民間によるセンター方式給食で実現できる。給食を担っていただくハーベスト株式会社において、H30.2 学期からの実現に向けて先日工事を着工したところ。

〔新図書館について〕

福祉・教育総合プラザ (3・4 階) で、子育て支援センターと一緒に取り組んでいく。本事業は、まちづくり・にぎわいづくりに繋がるもので、モデルも参考にしながら取り組んでいき、大事に育てていきたいと考えている。何年か前にも旧暁星高校跡地も検討したが、より効果的なものにしくためという思いで進めており期待もしている。投資が増大しているが、我慢しなければいけない。

山本教育長

より良い教育環境整備に見通しが持てるように配慮していただきありがたい。

- 井上市長 給食は安心・安全という面では急ぎすぎという声もあったが、昔のセンター給食とは違い、センター化でも実施可能。
ハーベスト株式会社側もセンターで家庭に代わって給食を作っていただく気持ちで取り組んでいただける。
- 速石委員 安心・安全はもちろん、おいしい給食をお願いしたい。
- 宮崎学校教育課長 献立はこれまでどおり栄養士が作成します。8月頃に試食も実施する予定です。
- 井上市長 ハーベスト株式会社も学校給食の実績はあります。
- 宮崎学校教育課長 全国でもセンター給食は15件、自校給食は100件程度です。
- 井上市長 おいしい給食の自信はあるか。
- 宮崎学校教育課長 もちろんあります。現行より落ちることはないと考えております。ハーベスト株式会社は、宮津小学校の給食調理も一緒に立ち会ってもらっています。
- 井上市長 小学校はエアコンもかなり我慢していただいた。
H32には100%となる。取り急ぎ宮津小学校は新校舎は完備される。
- 生駒教育長職務代理者 私達は町立から市立宮津小学校の移転を経験した。当時の同級生としても喜んでおり、非常に感慨深い。市長ありがとうございます。
- 井上市長 宮津小学校は誇れる学校にしていきたいと考え、取り組んできた。新図書館はどうですか。図書館を考える会でも議論していただいた。子育てもセットで取り組んでいかなければならない。
- 速石委員 福祉・教育総合プラザは、集約施設になるものと考えている。
- 井上市長 今回は、3階・4階を借りる形としている。
- 永濱教育次長 アンケート結果では、これまで市民の半数以上は図書館を利用されていない状況です。
- 井上市長 図書館機能がオリーブ、竹支援などビジネス振興にもなるようにと指示しているところ。
- 生駒教育長職務代理者 前尾記念文庫の書蔵が集約施設に移り、貴重な図書等を勉強している姿を子どもたちが目にする事で、“教育のまち みやづ”へとつながっていく。
- 井上市長 海に見える図書館にはつながらなかったが、将来的に何かしら検討もしていきたい。
- 生駒教育長職務代理者 新図書館において、森山先生の紙芝居もお世話になるのか。
- 河原社会教育課長 オープニングセレモニーでお世話になる予定です。

井上市長

来年の北前船寄港地フォーラムでもお世話になりたい。
図書館と併せて、コミュニティ広場もあるので、市民の皆様のワークショップの場も活発になれば、さらに子育て世代の方々も気軽に集える場になればと思っている。これからの新しい展開にも期待していきたい。

山本教育長

これまでの本を借りるだけ、読むだけの図書館ということだけではなく、新たな役割を考えながら一歩進んだ新しい図書館として期待しています。

井上市長

前尾先生の蔵書も多くの市民の方の目に触れるところに出てくる。前尾さんの遺族の方たちも喜ばれている。

生駒教育長職務代理者

給食費は現行維持でいけるのか。

宮崎学校教育課長

これまでと同様、給食費は食材分のみに充てる。小学校は現行程度、中学校は若干増程度になるかと思っている。

生駒教育長職務代理者

それがよいと考えます。

井上市長

■文化財の保護・活用について
事務局の説明をお願いします。

河原社会教育課長

○重要文化的景観について（資料 8）

[事業の目的・概要]

重要構成要素の修景整備事業を進める。今後追加選定を予定する宮津地区については、保存計画策定のための調査検討、まちあるきやフォーラムなど気運醸成のための普及啓発事業や地元説明会を開催し、早期の選定申出に向けて、地域住民の合意形成に向けた動きを進めていく。

[経緯]

平成 22 年度 国補助を得て、文化的景観選定に向けた取組開始
平成 26 年度 天橋立・府中地区が「宮津天橋立の文化的景観」
として国選定を受ける

平成 27 年度 文珠地区が追加選定

平成 28 年度 「重要構成要素」の修景整備事業

[平成 29 年度の主な取組]

- ・普及啓発活動 ブラミヤヅ（まちあるき企画）
- ・宮津地区の保存管理計画の調査検討
- ・整備事業に係る基礎調査等の実施
- ・重要構成要素物件の修景事業補助（3 件）

[平成 30 年度以降の方向性]

- ・文珠・府中地区：重要構成要素の修景整備助成
- ・宮津地区：早期選定に向けた保存計画策定や地区合意形成を進める

○市内遺跡発掘調査について（資料 9）

[事業の目的・概要]

宮津に残る優れた歴史遺産の保全活用を進めるため、市内の重要遺跡の範囲内容確認調査を継続実施。地下に埋もれた遺跡の歴

史的価値を明らかにし、保全活用のための基礎資料を作成し、今後の歴史文化を活かした地域のまちづくりにつなげていく。

[経緯]

市内重要遺跡の範囲確認内容調査を年次的計画をもって実施。

- ・平成 14～18 年度 成相寺旧境内
- ・平成 21～27 年度 難波野遺跡・成相寺旧境内
→国指定史跡に（平成 28 年 10 月）
- ・平成 28～31 年度 安国寺遺跡

[平成 29 年度の主な取組]

安国寺遺跡は弥生～中世の複合遺跡で、古代の丹後国府、中世では雪舟筆「天橋立図」に描かれる「安国寺」の所在推定地である。古代～中世の「丹後府中」の繁栄を示す重要な遺跡であり、発掘調査を年次的に行う。調査終了後は、学校生徒や市民を対象とした現地見学会を開催し、市民の歴史意識の高揚に努める。

[平成 30 年度以降の方向性]

- ・安国寺遺跡発掘調査
- ・成相寺旧境内をはじめ、市内遺跡の保護活用を推進

井上市長

重要文化的景観は、府中地区、文珠地区が選定され、宮津市内にも入っていくこととなるが、選定の目標はあるか。

永濱教育次長

当初は、平成 30 年度を予定していましたが、平成 31 年度に申請できればと考えています。

重要文化的景観は、様々な規制がある中、地域住民への丁寧な説明等に時間を要しているところです。

井上市長

市民の反応はどのような状況か。

東文化振興係長

まずは、コンセプトや計画づくりが必要と考えております。

特に大手川左岸は宮津の城下町の風情が残っています。

丹後の中心であり続けたゆえの様々な建物も立っており、そこがまたおもしろい所であるとも考えています。どのように規制をかけていくのが難しく、さらに住民への説明（理解いただくこと）も時間を要します。

これまでの成果をもって、説明会で理解を得ながら文化庁へ申請が必要となります。

井上市長

“ブラミヤヅ”などで多くの住民の理解を得ながら申請に向けて準備いただいている。府中・文珠地区に続き、宮津市街地にも入ってくる。選定された場合は、国の補助が得られることになる。宮津には桜山、旧三上家住宅等も考えられる。ゆくゆくは宮津市全体が重要文化的景観に選定されればとも考えている。文化庁からも世屋などは直ぐにでもと言われている。しっかりと進めていきたいと考えている。

生駒教育長職務代理者

“ブラミヤヅ”はよい企画をされたと考えている。宮津市内にあるカトリック教会のステンドグラスも文化活用の視点で観光名所にならないかとも考える。京都市内の清水寺も拝観料をとられ、施設改修に充てられている。

和火でも金谷谷地区の寺町も文化活用としての魅力があり、まちづくりとして活用できないかとも考えている。

- 永濱教育次長 信者としての寺の位置づけが強く、京都市内と比べ、観光面ではまだ低い。和火でもあるように、徐々に広く市民向けにPRするという取組にもなってきていると感じています。
- 生駒教育長職務代理者 意識変革も必要と思う。更なる広がり期待したい。
- 田崎委員 せっかくボランティアも立ち上がってきているので、生駒さんが言われたような取組につながればと思っている。
- 井上市長 宮津は城下町であり、北前船寄港地としても有名。来年4月の北前船寄港地の追加認定に向けて、全国27市町と一緒に取り組んでいるところ。歴史の館もそれに合わせて開館していく方向で検討している。実際海上に浮かんでいる船も整備していくようなことも必要かなと思っている。
- 生駒教育長職務代理者 きらびやかな文化財よりも、本来の日本の文化財の良さも見直されている。その流れに乗って取り組んでいただきたい。
- 井上市長 昨日、青年会議所の皆様で成相寺につながる道を整備され、私も歩いてきた。日本三景の起源にもなっている。こうしたものも重要文化財に位置づけられていないのか。
- 東文化振興係長 資料9の図面にも載せていますが、文化的景観重要構成要素の一つとなっています。今後情報発信もしていきたいと考えております。
- 生駒教育長職務代理者 歴史資料館に雪舟の国宝のレプリカ展示すれば、観光客も出会えることとなり、更に魅力的なものになる。
国立博物館は常に超満員の状態。“国宝に出会えるまち みやづ”みたいなキャッチフレーズを付けた取組なども必要。文化財の保護と活用にもつながっていく一つの方法とも考える。
- 永濱教育次長 国も文化財の保護のみならず、活用とも言っている。今までどおりの開館ではだめで、これまで掘り起こしてきた文化財（ガラシャ等）が集約でき、リフレッシュした開館につながればと考えている。
- 井上市長 国立博物館にも依頼していかなくてはならない。
- 東文化振興係長 今でも歴史資料館には雪舟の「天橋立図」のレプリカは展示しております。
- 井上市長 漁師町も重伝建にも検討できると伺っている。宮津はそれくらいの地域であり、ぜひ検討してほしい。
安国寺遺跡発掘は、国府の跡地とも言われている。期待が持てると思っている。
- 東文化振興係長 安国寺遺跡発掘周辺は、地盤も安定しており、平安時代の建物や役所的な建造物らしきものも発掘されている。成果が出ればプレスや学校教育の学びの場としても活用していきたいと考えております。

井上市長

京都府では、丹後郷土資料館を平成 35 年までに改修される予定。周辺の環境整備も実施すれば、全体としてまつごと文化財としての姿がより見えてくるので、ぜひ進めていきたいと考えている。

井上市長

■学校再編について

事務局の説明をお願いします。

宮崎学校教育課長

○学校再編計画の進捗状況（H29.10 現在）（資料 10）

1 宮津市立小中学校の再編計画（H20 年度策定、H24 年度改正）

2 これまでの再編

(1) 由良小学校 : H25.4 月栗田小学校に再編

(2) 上宮津小学校 : H27.4 月宮津小学校に再編（H28.9 フォローアップアンケートでは「良かった」が大半、「悪かった」はなし）

(3) 日置中学校 : H26.4 月橋立中学校に再編（H28.6 保護者懇談会では「元気に通っている、良かった」との声が大半）

(4) 養老中学校 : H29.4 月橋立中学校に再編（H29.10 保護者懇談会では「元気に通っている、良かった」との声が大半）

3 今後の予定

(1) 日置小学校、養老小学校を府中小学校に再編する計画の平成 31 年度実施を目指し、地元合意に向けて準備を進めている。

・今後、保護者意向を踏まえ自治連で合意判断。

・H29 年度から 3 小学校合同活動を拡大（はじめて合同修学旅行実施）

養老地域：保護者アンケート結果で 7 割は再編やむなし

日置地区：保護者アンケート結果で 7 割は再編反対

明日、明後日と養老・日置地区保護者との意見交換を実施する予定です。

井上市長

学校再編は順調には進んでいない。長い課題であると受け止めている。本年 4 月から養老中学校が橋立中学校に再編となり、専用スクールバスで通学しているが、安心安全の観点から言えば、国道 178 号は大丈夫かと考える。台風時にも通行止めとなるなど道路も真剣に考えないといけない。道路管理者である京都府にも伝えていかなければならない。安心安全な通学のために考えていかなければならない。

いじめ問題はどうか。

大槻総括指導主事

本年度 1 学期調査を実施しました。いじめの認知件数は小中ともあります。しかし、これは深刻なものではないですが、常に学校の中でも意識を持って対応しております。

山本教育長

最近報道されている他府県のような事態には、決してならないように対応していかなければなりません。学校として、教育委員会として、事態をどのように受け止め、どう対応していくかが重要です。すべての子どもたちにとって、安全で安心な学びの環境を作っていかなければならないとの思いで対応してまいります。本市において、現在のところ、重大事態に至っているケースはありませんが、引き続き、

しっかりと取り組んでまいります。

井上市長

時間も来たので本日は以上で終了したいと思います。
委員の皆様、長時間ありがとうございました。

(閉会 午後 0 時 5 分)